

## 学校現場でのICT活用の様子について

### 1 各校の授業におけるICT環境の現状

- GIGA構想に伴う児童生徒への1人1台端末の配備と高速大容量ネットワークの整備
- ICT活用に関わる校内研修会の実施（講義と演習）

### 2 授業におけるICT機器の活用

#### ○電子黒板

- ・教員から児童生徒への指示（課題やまとめ、解決の手立て）や情報提供（前時の振り返り）
- ・拡大や縮小、画像や動画による詳細で的確な提示
- ・「表示機能」、「書き込み機能」、「保存機能」の活用
- ・実物投影機との接続による活用

#### ○タブレット

- ・データによる資料提示（時間の短縮）
- ・データを決まったフォルダに保管（紛失等の防止）
- ・ペアやグループ学習の効率化（解決の見通しを持つための協働的な学習の充実）
- ・教員機に児童生徒の作業状況を一覧表示（個人やグループへの支援が容易に）

#### ○電子黒板とタブレットの組み合わせ

- ・個々の情報を視覚的に（瞬時に）全体共有
- ・インプットした情報をもとに個々が考えた内容を効果的にアウトプット
- ・データの保存により個々の学びのフィードバックが容易に

### 3 具体的な授業での活用実践例

#### ○授業支援アプリ「ロイロノート」の活用

- ・「話す」ことが苦手な児童生徒も授業への参加が容易に

#### ○「Zoom」等を活用した遠隔地との双方向型交流

- ・他校との交流における防災学習や学校紹介
- ・職業理解学習「Make the future」でのキャリア教育の推進

#### ○タブレットのカメラ機能を活用した視覚的に理解できる場の設定

- ・生活科や総合的な学習、校外学習等の記録とまとめでの活用
- ・体育や音楽等、実技科目の指導における活用
- ・学習用具の正確・安全な使い方の指導

#### ○単位時間内における適用問題や復習問題等への取り組み

- ・学習支援ソフト「eライブラリ」の効果的活用
- ・補充問題、発展的問題等、個々の実態に応じた設定が可能

## 4 成果

### (1) 教職員のICT機器活用に対する抵抗感の減少

- ・「機器に触れてみる」、「機器を使ってみる」ことによる新しいアイデアの表出
- ・ICTの得意な教職員を中心に小さな実践の積み上げ
- ・お互いに学び合う教職員集団としての意識向上
- ・授業時におけるファシリテーターとしての役割

### (2) 学習課題や学習過程、解決に向けた手立ての視覚化による学習意欲の向上と理解の深化

- ・必要な時にいつでも振り返り、確認することが容易
- ・友達の考えと自分の考えを比較し、良さや改善点を把握することが容易

### (3) 個々の理解状況や特性に応じた、適切な適用問題等の柔軟な設定や授業への参加体制

- ・苦手な問題、集中的に取り組んでみたい問題等、個々のニーズに合わせた多様な問題
- ・話すことが苦手な子、書くことが苦手な子でも授業に参加する喜び、「わかる・できる」の実感

### (4) 家庭における児童生徒の授業参加（学びの保障）

- ・出席停止や諸事情により学校に来ることができない児童生徒について、タブレットを活用することにより、オンラインの形で授業に参加

## 5 課題

### (1) 研修会等のあり方

- ・機器の使い方に加え、実践例の報告と協議による学校間の情報共有化

### (2) これまで積み上げてきた授業方法との関連

- ・ノートへの書き込み
- ・黒板を使用しての授業
- ・児童生徒の発言を拾い上げ、つなぎ、高めていく教師の力量

### (3) ICT支援員の配置

- ・今後さらに個別化、複雑化が予想されるICT教育への支援
- ・人材の確保

### (4) 臨時休校等の措置を採った際のオンライン学習のあり方

- ・ネット接続の不具合への対応
- ・対面の授業との違いから来る戸惑い等への対応

### (5) 機器更新時の予算確保

- ・一斉のタブレット導入により更新時期も一斉となる可能性
- ・バッテリー劣化への対応